

昨年11月号のトピック記事で、ココバッグを使ったキュウリ養液栽培についてご紹介しました。今回はその続編として、年間反収50トンの実現に向けた取り組みのご紹介をします！

過去の記事はコチラ→ <https://www.toyotane.co.jp/blog/farm/002819.html>

【2024年度作 耕種概要】

播種：2024/9/9 定植：2024/10/2 ココバッグ栽培（肥料：濃縮トマトS）
 子つる4本仕立て ハイワイヤーつる下ろし栽培
 予定栽培期間：2024/10月～2025/4月⇒改植⇒2025/4月～2025/9月

1作目を昨年10/2に定植し、計画通り今年の4/15で一度作を終了し、続けて4/21に2作目の定植を行いました。このように短期間で連作が可能なのがココバッグの強みであり、1年間の栽培期間を通して、収穫の途切れる期間をなるべく少なくすることが可能です！



2025/4/15に株元を切って片付け
 予め育苗していた苗を用意

4/21に一作目の隣に定植して
 2作目の準備完了！

1作目栽培中の様子（2024/1月）

作終了から次作定植までの間は、わずか6日間！

1作目の収量はどのくらい？

⇒2024/10/2～2025/4/15までで、最も多収だった品種で1反換算、約30トンとなりました。

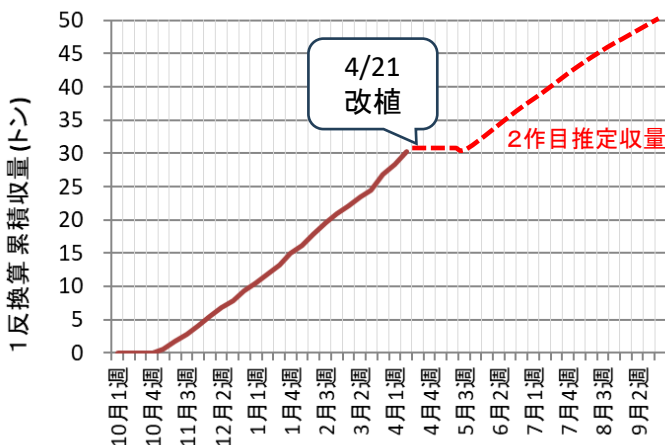


図.第1作目の累積収量

品種は「710 (株)埼玉原種育成会」
 1反900株定植として換算

2作目の計画は？

⇒2025/4/21に2作目の定植をしました。定植から収穫開始まで約1か月程度となりますので、5月下旬～9月下旬までの期間で20トン獲れば、年間収量50トン達成となります！

後半作の注意点は？

⇒真夏を越える作型になりますので、とにかくハウスを涼しくすることが重要となります。
 (キュウリは意外と暑さに弱いです！)
 ⇒遮熱塗料トランスパーの塗布と、ミスト噴霧、遮熱カーテンを駆使して夏を乗りきる計画です！

2025年5月29日にキュウリ試験の見学会を計画していますので、気になる方はぜひお越しください！詳しくはトヨタネHPまたはメルマガ・Instagramで告知いたします！